

TOHOKUわくわくスクールを開催

新潟県の小学校で鉄づくりの魅力を伝える！

TOHOKU わくわくスクールは、公益財団法人東北活性化研究センターが主管する人財育成事業の一環として、次世代を担う東北圏（東北6県と新潟県）の子供たちが企業の取り組みに直接触れることで、地域社会や産業界に対する関心や理解を深め、将来の進路の参考にさせていただくことを目的に、小学校や中学校などを対象に「出張授業」を行っているものです。

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）では、第1回の2018年度より継続して参画しております。

2020年度では、新潟県内の2小学校を対象に、以下の通り、実施致しました。

村上市立村上小学校 2020年10月12日 小学5年生 45名

南魚沼市立中之島小学校 2020年10月27日 小学5年生 27名

当該出張授業では、日本製鉄株式会社新潟支店のスタッフが、「私たちの生活に身近な鉄の世界」と題して、様々なインフラに使われている鉄、鉄づくりの学習の他、LCA（ライフサイクルアセスメント）動画を使って鉄が環境にやさしい素材であることを伝えました。

<新潟支店のスタッフによる授業の様子>



（「身の回りにある鉄をさがしてみよう」を授業 於 村上小学校）



(軟鋼とハイテンの強度の差を説明 於 中之島小学校)

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動(「質の高い教育をみんなに」)を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2146

以 上